

団体名 <b>糸満市立兼城こども園</b>	連絡先 TEL : 098-994-7914 Eメール : kanekodomo@city.itoman.lg.jp
--------------------------	--

## 1. 実践事項 (②)

## 「保護者との連携～コロナ禍における保育参観の工夫～」

## 2. 実践内容

○感染対策を行いながら保育参観を実施する

①前年度まで、コロナ感染防止の観点から、実施できていなかった保育参観の実施の検討を行う。  
(運動会、生活発表会の行事の参観は、内容を変更して実施していたが、普段の保育の様子を見る機会がなかったので、どのような形であれば実施できるか職員間で話し合い検討する。)

・密にならずに参観できるように工夫する

(1～5歳児各クラス保護者1名の参加と、日程を3日間に分けて行う。)

・ 6 / 29、7 / 1 (遊びの時間) ・ 7 / 8 (給食の時間) → 9 / 14へ延期

②園での生活の様子を保護者に伝える工夫を行う

・遊びの様子を分かりやすいように写真で掲示し、園での生活を保護者に伝える

(玄関入口に園庭の環境図に写真とともに遊びの様子や指導案を掲示、また、保育ドキュメンテーションを作成し掲示する)

## 3. 説明資料



保育参観の様子



園庭環境図写真掲示



保育ドキュメンテーション掲示

保護者のアンケートより…

コロナ禍の中、参観の機会を作ってくれて嬉しかった / 3日間に分かれて日にちを選べたのは良かった / 家で見る事のできない子どもの姿を見ることができ成長を感じた / 同じ年齢の子の食事の様子が見られて勉強になった / 当番活動で自分で行動している姿に感動した / 先生方が広い視野で見守ってくださり安心でした / 次は夫婦2人で一緒に見に行けるようになるといいな 等

## 4. 成果

- ・コロナ禍で実施できなかった保育参観の日程を、3日間に分けることで密を避け感染対策を行いながら実施することができた。
- ・保護者に保育の様子を実際にみてもらおうと同時に、指導案(保育のねらい)や写真を掲示したことで、子どもの育ちや友達との関わり、同年齢の遊びの様子を見てもらうことができた。

## 5. 課題

- ・保育参観を3日間に分けて実施したが、3日目の給食時間の参観日直前に園内でコロナ感染者が出てしまい、再度調整があり夏休みも重なり2か月後の実施となってしまった。3日間の日程は、密を避けることができたが、感染状況に左右されてしまい予定通りの日にちで実施するのが難しく課題である。